

「ゆめの のりもの」をしようかいする会をひらこう

本時のねらい 隣の友だちと対話をするを通して、自分の考えた「ゆめをかなえる ゆめののりもの」の内容を明確にすることができる。

学習活動と内容	指導上の留意点（◆）と評価（【 】）
<p>1. 今日の学習のめあてを確認する。 話し合っ「かたちやできることがくわしくなる。 新しいアイデアがうかんでくる。」ことがめあて。</p>	<p>◆ 掲示物（学習の過程）を利用して、本時のめあてを確認する。</p>
<p>ドラえもんにちょうせん！ 考えた「ゆめをかなえる ゆめののりもの」を友だちに聞いてもらって、アイデア NO1 をめざそう。</p>	
<p>2. 話し方や聞き方のポイントをつかむ。 名前、できること、それを作りたい理由、どのようなつくり（動く場所、形、大きさ、色、動き方、音など）、普通ののりものとの違い、やってみたいこと、話し方、聞き方の話型</p>	<p>◆ デジタル教科書にあるビデオクリップのモデルを提示し、ポイントがわかるようにする。 ◆ 話し手は相手を見て自分の考えを説明するようにし、聞き手は絵カードを見ながら聞き取り、できることや様子について質問する。</p>
<p>3. 隣の友だちと「あったらいいな ゆめののりもの」を紹介し合う。 ＜話し手＞知らせたいことが伝わるように話す 「わたしのゆめの車は〇〇という名前です。それは、～です。」 ＜聞き手＞何ができるのか聞いて、分からないことは質問をする。 「ここは、どうなっていますか。」 「使い方は、どうやるのですか。」 ＜答える＞ 「それは、～です。」 「そこは、～のようにします。」</p>	<p>◆ 前時にアイデアが浮かんでこなかった子どもを中心に机間指導を行う。最初は右側の子どもが話し手、次は役割を交代して行う。</p> <p>対話のシーン① 【話す聞く】身近なところから想像を広げ、説明のために必要なことを考えている／質問したり、感想を言ったりしている。</p>
<p>4. 質問されたことをカードに書き加え、話す順番を再構成して練習し、再度聞いてもらう。 ＜話し手＞質問されたことを入れて、話し方を再構成して話す ＜聞き手＞よくなったところについて、感想を言えるように聞く</p>	<p>◆ うまくできているペアが前に出てモデルペアトークをする。</p> 
<p>5. 本時をふり返り、何がどこまでできたかについてまとめる。</p>	<p>◆ 質問を忘れたら友だちに聞き返させる。</p> <p>対話のシーン② 【話す聞く】伝えたいことをより明確にして話している／質問したり、感想を言ったりしている。</p> 
	<p>◆ 友だちに自分のアイデアのおもしろいところや工夫したところ、やってみたいところなどを伝えることができたか。また、友だちの質問や意見によって、よりゆめののりものがイメージできたか。</p>